



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月1日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部長 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	27,546	15.8	3,730	29.4	3,760	29.4	2,681	49.9
29年3月期第3四半期	23,784	24.7	2,882	18.7	2,906	18.0	1,789	6.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,697百万円 (49.2%) 29年3月期第3四半期 1,807百万円 (7.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	86.18	
29年3月期第3四半期	57.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	21,674	14,653	67.6	470.86
29年3月期	19,500	12,734	65.3	409.20

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,653百万円 29年3月期 12,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		25.00	25.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,740	12.9	4,670	21.4	4,700	20.6	3,300	28.3	106.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	31,121,520 株	29年3月期	31,121,520 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,709 株	29年3月期	1,625 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	31,119,870 株	29年3月期3Q	31,119,909 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな景気回復の動きが見られた一方で、個人消費は依然として先行き不透明な状況が続いております。また、消費者の商品・サービスに対する選別の目が一段と厳しさが増す中、販売競争が激化するなど、引き続き厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは「ダブルエスアール (WSR) ※」の経営スローガンのもと、『超現場主義』を実践テーマに加え、プロフィット部門であります製造ライン、店舗、営業部門における現場中心の経営スタイルに一層磨きをかけ、商品力、販売力・営業力、売場力の更なる向上に努めてまいりました。また、「インバウンド対策の強化」、「海外展開」、「首都圏でのWSR化展開の推進」、「プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成」の4つの重点施策を引き続き注力してまいりました。更に、首都圏での経営基盤をより一層強固なものとすべく、平成29年4月1日付で株式会社シュクレイを存続会社とし、株式会社フランセを消滅会社とする吸収合併によるグループ再編を実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,546百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は3,730百万円（前年同期比29.4%増）、経常利益は3,760百万円（前年同期比29.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,681百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

※ WSR (ダブルエスアール) とは、グループ経営基本方針として平成27年に掲げた経営スローガン『ワールド サプライジング リゾート (World Surprising Resort) 宣言』の略称であり、商品・店舗・接客・営業活動など、あらゆるビジネスのシーンで「世界へ、ありえないほどの驚きの、非日常 (超感動) を提供する」という意味が込められています。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、平成29年4月1日付で実施した連結子会社間の吸収合併に伴い、従来、報告セグメントとしておりました「フランセ」を第1四半期連結会計期間より「シュクレイ」に統合いたしており、以下の記載における前第3四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。

① ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、商品面では主力商品「ドゥーブルフロマージュ」及び「小樽色内通り フロマージュ」の販売強化に加え、新商品「テノワール」の拡販に注力いたしました。売上面では、インバウンド対策として注力しております国際線ターミナル免税エリアでの販売が好調に推移しました。その結果、売上高は8,219百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は977百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

② 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、売上面では、焼き菓子類を中心にグループ向け及び代理店向けが好調に推移しました。また、山陰地区が発売50周年を迎えた銘菓「因幡の白うさぎ」の販売強化などにより堅調に推移しました。生産面では、商品開発の強化に向け、新たな製造ラインを設置し、製品ラインナップの充実を図りました。その結果、売上高は8,308百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は1,121百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

③ シュクレイ

シュクレイは、統合メリットを最大限発揮させるべく、販売面では、「フランセ」ブランドの販売チャネルの絞り込みを実施いたしました。また、生産面では、製造ラインの新設及び改修を行い、商品の一部をグループ間仕入から自社工場生産に切り替えるなど生産体制の改善に注力しました。売上面では、主力ブランドの積極的なプロモーションにより認知度が向上したことに加え、新規出店や新ブランドをリリースしたことなどにより、大幅に伸ばいたしました。その結果、売上高は8,332百万円（前年同期比27.1%増）、営業利益は933百万円（前年同期比156.4%増）となりました。

④ 販売子会社

販売子会社は、駅、空港、SA・PAなど交通拠点チャネルを中心に、新製品及び主力商品のコーナー化展開を推進し、堅調に推移しました。その結果、売上高は4,259百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は350百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、売上面では、長崎・佐世保地区は、主力商品「九十九島せんぺい」の販売強化などにより熊本地震の影響による低迷から回復基調にあるものの、福岡地区が、福岡空港改装工事に伴う売場縮小などにより低迷しました。新業態のフレンチトースト専門店「Ivorish (アイボリッシュ)」は、認知度向上に向け首都圏を中心に催事展開を推進しました。その結果、売上高は2,566百万円(前年同期比1.8%増)、営業損失は125百万円(前年同期は営業損失12百万円)となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾)における菓子事業が含まれており、売上高は259百万円(前年同期比33.6%増)となり、営業損失は41百万円(前年同期は営業損失59百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、21,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,174百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加(1,356百万円)、機械装置及び運搬具(純額)の増加(356百万円)、商品及び製品の増加(284百万円)、建物及び構築物(純額)の増加(284百万円)、流動資産におけるその他の増加(212百万円)、現金及び預金の減少(520百万円)などの要因によるものです。

負債は7,021百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金の増加(500百万円)、支払手形及び買掛金の増加(241百万円)、賞与引当金の減少(226百万円)、長期借入金の減少(200百万円)などの要因によるものです。

純資産は14,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,918百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加(2,681百万円)、配当金の支払いによる減少(777百万円)などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント増加の67.6%となり、1株当たり純資産は470円86銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、前回公表数字(平成29年11月1日付「業績予想の修正に関するお知らせ」)から変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,551,463	3,030,495
受取手形及び売掛金	3,592,493	4,948,806
商品及び製品	1,003,805	1,288,714
仕掛品	74,161	105,404
原材料及び貯蔵品	453,360	579,431
その他	784,244	996,974
貸倒引当金	△4,276	△5,723
流動資産合計	9,455,250	10,944,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,333,555	3,618,302
機械装置及び運搬具(純額)	1,748,667	2,104,895
工具、器具及び備品(純額)	374,008	397,954
土地	3,084,438	2,857,139
リース資産(純額)	8,380	6,262
建設仮勘定	52,453	173,496
有形固定資産合計	8,601,501	9,158,048
無形固定資産	103,149	107,677
投資その他の資産		
その他	1,365,774	1,488,959
貸倒引当金	△25,533	△24,445
投資その他の資産合計	1,340,241	1,464,514
固定資産合計	10,044,891	10,730,239
資産合計	19,500,141	21,674,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,246,124	1,487,176
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	318,063	282,896
未払法人税等	819,118	705,226
賞与引当金	590,083	363,484
ポイント引当金	18,414	27,133
その他	1,735,254	1,735,101
流動負債合計	4,727,056	5,101,016
固定負債		
長期借入金	693,142	492,845
退職給付に係る負債	1,156,787	1,247,866
その他	188,945	179,412
固定負債合計	2,038,874	1,920,123
負債合計	6,765,930	7,021,139

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	10,161,317	12,065,158
自己株式	△835	△1,212
株主資本合計	12,701,443	14,604,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,457	49,134
為替換算調整勘定	△4,334	△3,939
退職給付に係る調整累計額	3,645	3,099
その他の包括利益累計額合計	32,768	48,294
純資産合計	12,734,211	14,653,201
負債純資産合計	19,500,141	21,674,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	23,784,993	27,546,948
売上原価	10,560,880	11,939,355
売上総利益	13,224,113	15,607,593
販売費及び一般管理費	10,341,722	11,876,734
営業利益	2,882,391	3,730,859
営業外収益		
受取利息	532	954
受取配当金	4,163	4,094
受取地代家賃	14,132	14,200
その他	24,335	32,034
営業外収益合計	43,162	51,282
営業外費用		
支払利息	9,089	3,987
持分法による投資損失	1,021	9,849
その他	8,640	8,023
営業外費用合計	18,750	21,859
経常利益	2,906,803	3,760,282
特別利益		
固定資産売却益	513	75,468
特別利益合計	513	75,468
特別損失		
固定資産売却損	409	—
固定資産除却損	15,429	9,719
投資有価証券売却損	29,342	—
特別損失合計	45,180	9,719
税金等調整前四半期純利益	2,862,136	3,826,031
法人税等	1,072,539	1,144,193
四半期純利益	1,789,597	2,681,838
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,789,597	2,681,838

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,789,597	2,681,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,034	15,677
為替換算調整勘定	△906	1,526
退職給付に係る調整額	—	△546
持分法適用会社に対する持分相当額	718	△1,131
その他の包括利益合計	17,846	15,526
四半期包括利益	1,807,443	2,697,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,807,443	2,697,364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ケイシー シー	寿製菓・但 馬寿	シュクレイ	販売子会社	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	6,325,690	4,652,350	6,432,515	3,884,320	2,296,763	23,591,638
セグメント間の内部 売上高又は振替高	777,200	2,976,541	124,105	12,810	223,975	4,114,631
計	7,102,890	7,628,891	6,556,620	3,897,130	2,520,738	27,706,269
セグメント利益 (△は損失)	886,543	1,034,117	364,153	319,550	△12,099	2,592,264

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	193,355	23,784,993	—	23,784,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	551	4,115,182	△4,115,182	—
計	193,906	27,900,175	△4,115,182	23,784,993
セグメント利益 (△は損失)	△59,084	2,533,180	349,211	2,882,391

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額349,211千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額803,910千円、セグメント間取引消去額16,944千円、たな卸資産の調整額△42,355千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△429,288千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ケイシイ シイ	寿製菓・但 馬寿	シュクレイ	販売子会社	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	7,507,205	5,053,626	8,215,302	4,234,472	2,277,298	27,287,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	712,571	3,255,186	117,283	24,842	289,595	4,399,477
計	8,219,776	8,308,812	8,332,585	4,259,314	2,566,893	31,687,380
セグメント利益 (△は損失)	977,072	1,121,189	933,714	350,649	△125,297	3,257,327

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	259,045	27,546,948	—	27,546,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,399,477	△4,399,477	—
計	259,045	31,946,425	△4,399,477	27,546,948
セグメント利益 (△は損失)	△41,876	3,215,451	515,408	3,730,859

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額515,408千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額977,564千円、セグメント間取引消去額22,989千円、たな卸資産の調整額△39,128千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△446,017千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

平成29年4月1日付で連結子会社であります株式会社シュクレイは、連結子会社であります株式会社フランセを吸収合併いたしました。これに伴い、従来、報告セグメントとしておりました「フランセ」を第1四半期連結会計期間より「シュクレイ」に統合いたしており、前第3四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。